



西宮市民意識調査の結果



市では、毎年市民意識調査を実施し、みなさまの声を市政に反映するように努めています。

このたび、18歳以上の方から無作為に選んだ3,500人を対象に、昨年9月に調査を行った結果がまとまりました。

今回は、「119番通報、救急車の利用について」、「西宮に対する思いについて」、「人権問題について」、「阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について」の4つのテーマについておうかがいしました。

ご回答いただきましたみなさまには、厚くお礼申し上げます。

※有効回収率：53.3%

- 性別 男性：36.8% 女性：57.9% その他0.1%
- 年代別 10歳代：1.7% 20歳代：6.3% 30歳代：9.8% 40歳代：17.0%
50歳代：19.5% 60歳代：16.9% 70歳代：18.2% 80歳以上：10.1%

なお、市民意識調査結果報告書は、市民相談課、総務課、各支所、サービスセンター、アクタ西宮ステーション、各公民館、図書館（中央・北口・鳴尾・北部・山口分室）で閲覧ができます。

また、市のホームページ（市政情報→広報・広聴→市民意識調査）にも掲載しています。

●各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため構成比の合計が100%にならない場合があります。

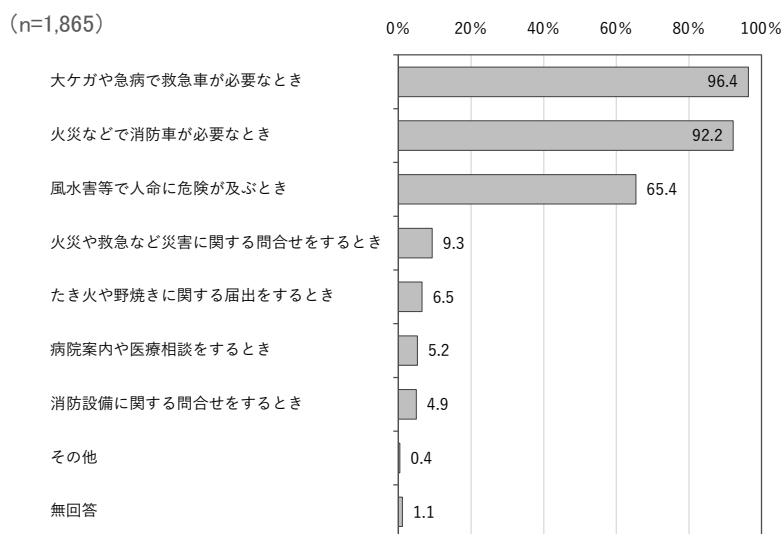
119番通報、救急車の利用について

119番は、火災や救急等の災害の際に利用する緊急回線です。また、救急車は、大ケガや急病などで緊急に診察や処置が必要な人のためのものです。

119番や救急車についての意識調査を行い、適正利用の推進に生かしていきたいと考えています。

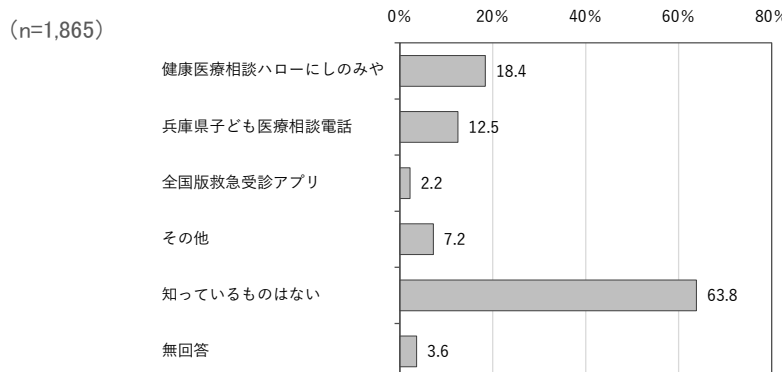
問 119番通報はどのようなときに利用するものだと思いますか。

「大ケガや急病で救急車が必要なとき」が96.4%と最も高く、次いで「火災などで消防車が必要なとき」（92.2%）、「風水害等で人命に危険が及ぶとき」（65.4%）となっています。



問 あなたは、急な病気やケガをしたときの相談あるいは連絡先で知っているものはありますか。

「知っているものはない」が63.8%と最も高く、次いで「健康医療相談ハローにしのみや」（18.4%）、「兵庫県子ども医療相談電話」（12.5%）となっています。



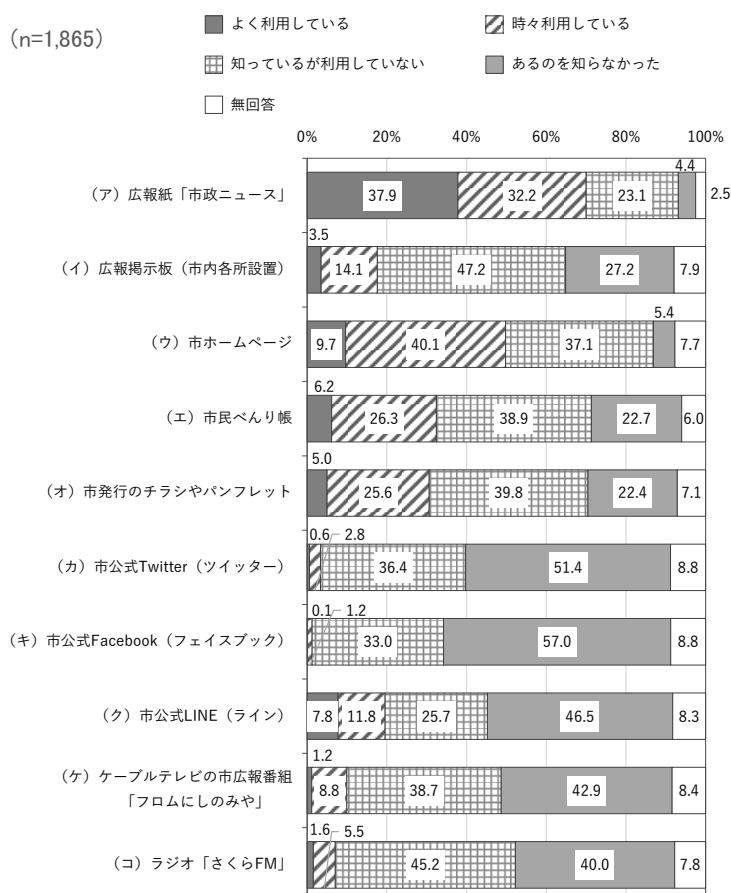
西宮に対する思いについて

西宮市では、市民のみなさまが西宮の多様な魅力を知ることでもちへの愛着が高まり、西宮に関わる人たちがいきいきと活動できるようなまちであり続けるために、様々な情報を積極的に発信しています。

西宮に対するみなさまの思いと市の広報媒体の利用状況をうかがい、より効果的に西宮の魅力を発信し地域活性化につなげていくための参考とさせていただきます。

問 市では、西宮の魅力や市政情報を伝える媒体として「市からのお知らせ」を次のような方法でお届けしています。あなたは、これらをどの程度利用（読む、見る、聴くなど）されていますか。

「(ア) 広報紙「市政ニュース」で「よく利用している」の割合が37.9%と最も高くなっており、「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は70.1%と7割を占めている。一方で、「(キ) 市公式Facebook（フェイスブック）」と「(カ) 市公式Twitter（ツイッター）」で、「あるのを知らなかった」がともに5割を超え高くなっています。

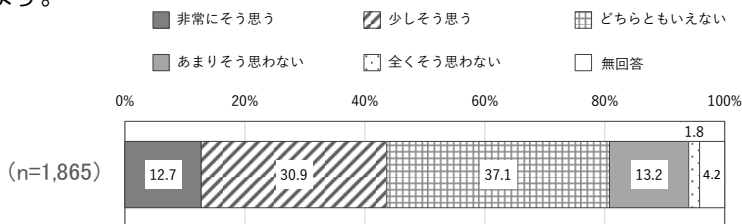


人権問題について

西宮市では、平成30年度（2018年度）に第2次西宮市人権教育・啓発に関する基本計画を策定しました。その後、新型コロナウイルス感染症に関する差別などが新たな人権課題として認識され、SNS等での誹謗・中傷等の人権問題も拡大しております。そこで、市民のみなさまのご意見をうかがい、今後の人権啓発活動に役立てたいと考えています。

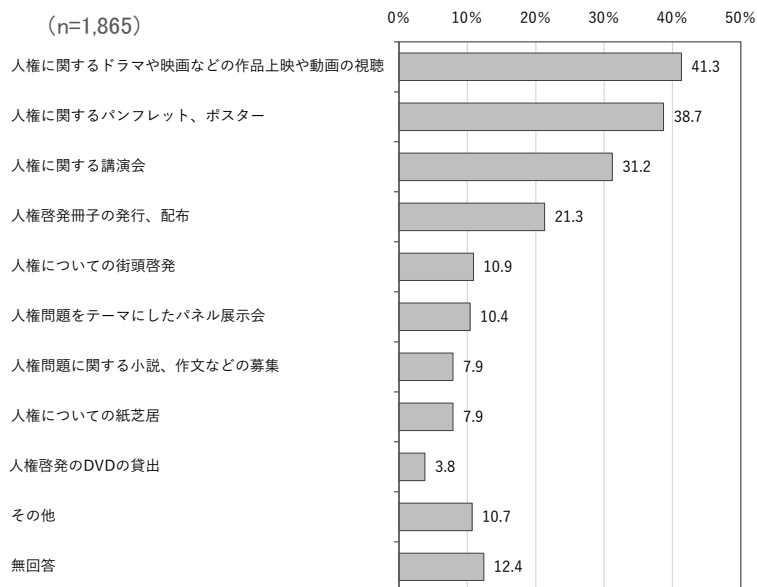
問 あなたは、身の回りで人権が尊重されていると思いますか。

「どちらともいえない」が37.1%と最も高く、次いで「少しそう思う」（30.9%）となっている。また、「非常にそう思う」と「少しそう思う」を合わせた『そう思う』割合は43.6%と4割を超えています。



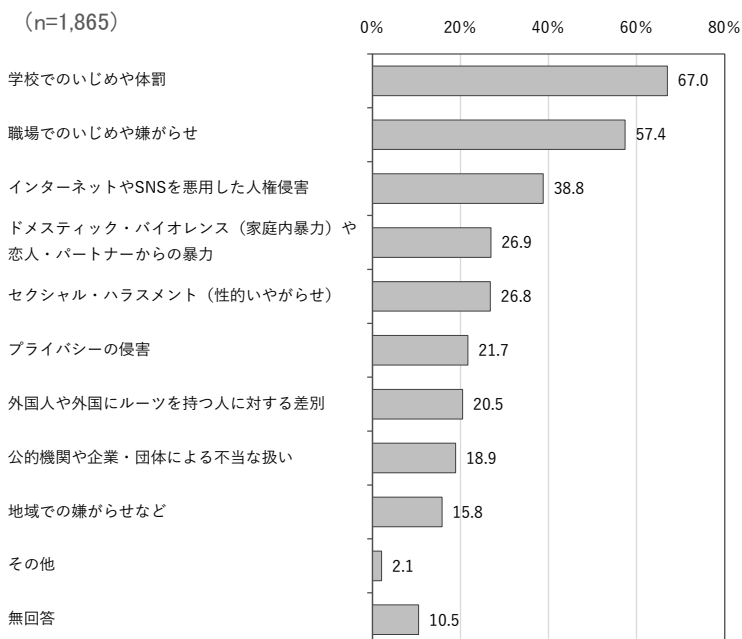
問 あなたは、効果的な人権啓発活動はどのようなものだと思いますか。

「人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴」が41.3%と最も高く、次いで「人権に関するパンフレット、ポスター」（38.7%）、「人権に関する講演会」（31.2%）となっています。



問 あなたが今まで見聞きした人権侵害はどのようなものでしたか。

「学校でのいじめや体罰」が67.0%と最も高く、次いで「職場でのいじめや嫌がらせ」（57.4%）、「インターネットやSNSを悪用した人権侵害」（38.8%）となっています。



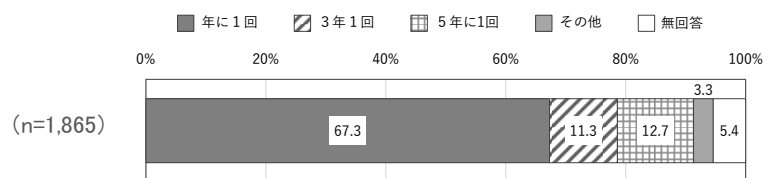
阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について

西宮市では、阪神・淡路大震災により犠牲となられた方々に、ご遺族や市民の方が哀悼の気持ちを捧げていただけるよう、毎年1月17日に西宮震災記念碑公園で追悼行事を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響からここ数年は記帳所設置を見送るなど一部簡略化しましたが、数年後には震災から30年を迎えます。今後の追悼行事のあり方について、この調査結果および県や近隣他市の動向も含めて参考にしたいと考えています。

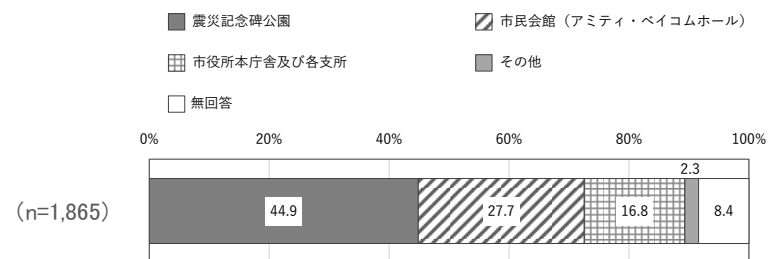
問 あなたは、「震災追悼行事」の実施について、どのくらいの頻度がよいと思いますか。

「年に1回」が67.3%と最も高く、次いで「5年に1回」が12.7%となっています。



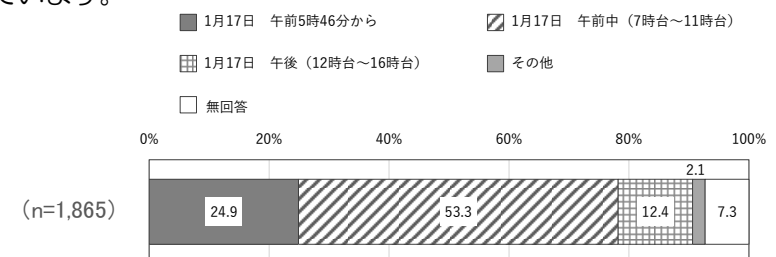
問 「震災追悼行事」の実施場所について望ましいと思うのはどれですか。

「震災記念碑公園」が44.9%と最も高く、次いで「市民会館（アミティ・ベイコムホール）」（27.7%）となっています。



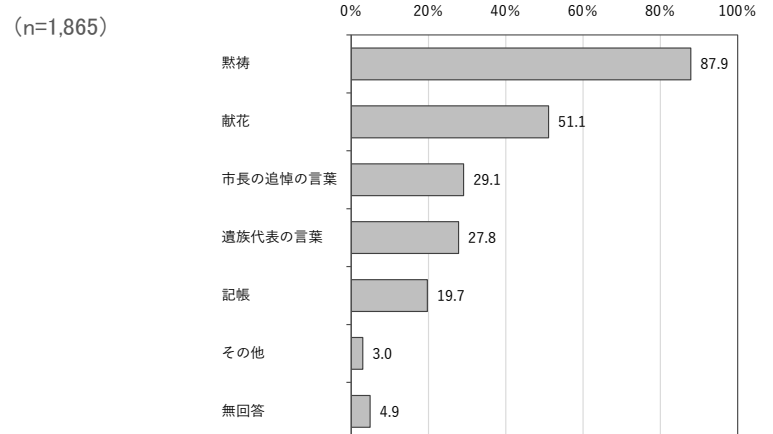
問 「震災追悼行事」を開始する時間帯について望ましいと思うのはどれですか。

「1月17日 午前中（7時台～11時台）」が53.3%と最も高く、次いで「1月17日 午前5時46分から」（24.9%）となっています。



問 「震災追悼行事」の内容について、必要だと思うものはどれですか。

「黙祷」が87.9%と最も高く、次いで「献花」（51.1%）、「市長の追悼の言葉」（29.1%）となっています。



市民意識調査の結果に関するお問い合わせは、
西宮市 政策局 市長室 市民相談課
 (TEL: 0798-35-3100) まで